



サイパー 国語読解の特訓シリーズ シリーズ三十七

要約の特訓 下 実践編

- ・ 楽しく文章を書こう・
- ・ 文章の読解と要約の特訓・

も く じ

「要約の特訓 下 実践編」について 2

このテキストのつかい方 3

| | | | |
|------|----|------|----|
| 本文 一 | 4 | 本文 二 | 6 |
| 本文 三 | 9 | 本文 四 | 12 |
| 本文 五 | 14 | 本文 六 | 15 |
| 本文 七 | 17 | 本文 八 | 20 |

| | | | |
|----|----|----|----|
| 問一 | 23 | 問二 | 24 |
| 問三 | 26 | 問四 | 28 |
| 問五 | 30 | 問六 | 30 |
| 問七 | 32 | 問八 | 34 |

| | |
|----|----|
| 問九 | 36 |
| 問十 | 43 |

| | |
|----|----|
| 解答 | 49 |
|----|----|

| | | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|----|----|---|
| 難易度 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 受験 | 難 |
| | | | | | ←→ | | |

「要約の特訓 下 実践編」について

このテキストは、文の要旨を正確につかみ、文を短く要約する練習をするものです。文の要旨を正確につかむということは、高い読解力を持つということに他なりません。読解力は、すなわち国語力そのものですので、このテキストは、高い国語力をつけるための直接的な効果が期待できるものです。

小学生に対して文(文章)を書かせる勉強には、この「要約」の他に「作文」、「読書感想文」などがあります。「作文」はいわば「随筆」です。「読書感想文」はいわば「書評」です。「随筆文」や「書評」などを書くには、高い創造力と批評力が必要となり、「随筆文」や「書評」は大人でも書くのが難しい文章です。ですから一般的な小学生や中学生ぐらいの子どもに「作文(随筆)」や「読書感想文(書評)」を書かせるには、仮にきちんとした文章を書く指導をしたとしても、かなり困難な作業です。ましてや、書く指導をしないまま、「思ったままかいてみましょう」「感じたことをそのまま書きましょう」程度の指導で、「作文」や「読書感想文」を書かせることは、子どもを「書く」ことから遠ざけ、嫌いにさせる要因の一つになっていると思われる。

小学生に対して「書く」指導を行う場合は、まずは「要約」(あるいは「あらすじ」)から入るのが、子どもにとって負担が少なく、取り組みやすいので、たいへん良いのです。作文や感想文嫌いの子どもでも、比較的容易に、楽しく文章を書く練習ができるように、そして、国語力が向上することを願って、このテキストは作成されています。

このテキストのつかい方

このテキストは、読書が好きになり、書くことが得意になるためのテキストです。楽しく学習することが目標ですので、わからない問題をとばしてもかまいません。どうしても分らない所は、解答を見てもかまいません（ただし、解答の丸写しはしないこと。解答を見て納得したら、解答を閉じて答を書いてみましょう）。またお父さんやお母さん、お兄さん、お姉さん、学校の先生などにヒントをもらってもいいでしょう。

自力で解けなかった問題は、必ず日をおいてもう一度解いてみましょう。解けない問題が多かった場合は、このテキストを最初から全部やり直すのも良いでしょう。

ではさっそく始めましょう。

問題一、次の【 】に合うように、段落一（4ページ1行目〜6ページ40行目）のあらすじを書きなさい。（同じ記号には同じ言葉が入ります。）

村の【ア】であるメロスは、【イ】の準備じゅんびのため、【エ】の市に買い物に
来ていた。【オ】の市に買った時とく
らべて、市全体がやけに【カ】かっ
た。それを【キ】思ったメロス
は道で会った【ク】に聞いてみ
たが、【ク】は答えなかつた。また【ケ】
【 】に語勢ごせいを強くして聞いたが答えない
ので、【ケ】の体をゆすぶって質問したら、【ケ】
はあたりをはばかる小声で「【コ】
は人を【サ】【す】と答えた。【ケ】
によると、【コ】は自身の世継よつぎや妹などを
【サ】し、また【シ】な暮らしを

問題九、ヒントにしたがって、次の【 】に合うように、文章全体のあらすじを書きなさい。

だれは？

だれの？

村の牧人の【 】は、【 】の【 】の【 】
 なにの？

どうの？

【 】の準備のために【 】の市に
 うし？

どこ全体？

来ていた。【 】に
 どうだった？

どうだった？

【 】全体がやけに【 】
 どうしてみると？

だれが？

【 】てみると、【 】が人や世継ぎまで
 どうするつもり？

どうする？

を【 】のだと、あたりを【 】
 どうの？

ように【 】の人たちは答えた。

だれは？

どう思って？

【 】は【 】して、そのまま【 】
 どうに？

なににして？

どこが？

【 】に【 】ていったが、【 】
 なにが？

なにが？

から【 】がでてきたので、【 】が
 どうなった？

だれは？

【 】なった。暴君【 】は

